

全国の支援者の皆様へ

活動のご報告

参議院議員 自見はなこ



☆公式LINE☆



2025年（R7年）10月17日

平素より温かいご理解とご指導を賜り誠に有難うございます。

10月4日、第29代 自由民主党高市早苗総裁が誕生し、新たな体制のもとで党の歩みが始まりました。あらゆる分野で日本の可能性を伸ばし、人々の不安に寄り添うあたたかい社会、政策の実現を目指してまいります。“守るべきものを守り、変えるべきものを変える”、国民皆さまの声を丁寧に受け止め、信頼される政治の実現に向け、引き続き全身全霊で活動してまいります覚悟です。

今月も活動の一部をご報告させていただきます。

■大阪・関西万博 閉会式に出席いたしました

10月13日、誘致決定から7年、184日間にわたり開催され、約2558万人にご来場いただいた大阪・関西万博が、大盛會にて遂に幕を閉じました。2年前に万博担当大臣を拝命し、この壮大なプロジェクトに携われましたこと、私の人生においてもかけがえのない時間となりました。幾多の困難が立ちはだかりましたが、その度に関係者の皆様、各国の皆様、国民の皆様のご期待にお支えいただき、前に進めることが出来ました。改めまして全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

この万博には、世界中の叡智と技術、そして未来への希望が集められました。人々が国境を越えて心を通わせ、新たな絆を生んだことは、これからの日本にとって何よりの財産です。

「万博を終えて」の全文が掲載されております。→
長文になりますが、お時間あれば是非ご覧下さい。



■こども DX 推進協会 Meetup にて 講演いたしました

9月17日、こども DX 推進協会 Meetup にお招きいただき、「こども基本法」について講演させていただきました。
こども基本法が持つ歴史的な意義や、教育と福祉の融合、
こどもの意見表明権と自治体の義務、3つの基本姿勢、
Bio-psycho-social wellbeing などのお話をさせていただきました。

デジタル技術を集結し、社会全体で子育てを支えるための環境整備を推進する本協会は、「こどもまんなか社会」の実現のため、設立当初からこども家庭庁と連携し活動を展開されており、企業や民間セクターと官の連携による新たな可能性を感じる大変意義深い活動だと思います。私自身も引き続き皆様と連携し、すべてのこどもが健やかに育つ社会の実現に向け尽力してまいります。



■人口減少・過疎化が進む地域の医療・福祉の現場を視察

○9月14日、岐阜県飛騨高山における医療 MaaS（マース：移動診療車）の実証導入の現場を視察いたしました。診療車両に医療機器・通信機器を搭載し、看護師が同乗、医師はオンラインで遠隔から問診したり、現場の看護師に指示をして診察を行うモデル（いわゆる“D to P with N” ※Doctor to Patient with Nurse）により、診療所や病院までのアクセスが極めて困難な、医療資源の乏しいへき地において、患者の早期治療や重篤化予防、医療リソースの効率化等を目指しています。この事業は、内閣府の地方創生交付金が活用されています。通信インフラの整備や、運用コストの持続性、また何より現場で対応する看護師のスキルが大切であるとのことで、人材育成の重要性など、多様な課題を実感いたしました。



✓車内 ↓ 医療 MaaS



↑ 秋保一関市医師会長と神崎県議



↑ 長澤岩手県介護老人
保健施設協会長

○9月20日、岩手県一関市を訪問しました。地域の民間病院や介護福祉施設が、存続の危機を迎えている大変厳しい現状を改めて生の声を伺いました。患者数の減少、経営悪化、人手不足、物価上昇等、昨年末からもう限界値を超えています。一刻も早く補正予算を成立させ必要な手当てを講じなければ、地域医療・介護・福祉は崩壊します。今こそ政治が責任を果たさねば、国民に安心・安全な医療を届けることが出来ません。地域現場の声を胸に、しっかりと政策につなげ実現するよう、これからも力の限りを尽くして取り組んでまいります。

○9月21日、福岡県福岡市で開催された日本栄養士連盟九州地区学習会にお招きいただき、大変有意義な意見交換をさせていただきました。人生 100 年時代を迎え、社会が多様化する中で、誰一人取り残さず、国民の QOL（生活の質）を守っていくには、医療だけではなく、栄養・食の支援を含めた包括的な手当てが不可欠だと考えています。栄養士と、医療・福祉の現場との連携強化の必要性を改めて強く実感いたしました。

かねてから取り組んでおります“栄養ケアステーション”政策とともに、連携体制の整備強化に向けて、しっかりと力強い支援をしてまいります。

↓ 日本栄養士連盟九州地区学習会



英傑シャクシャインを偲ぶ



↑ 浦河赤十字病院にて

○9月23日、北海道日高地方へ伺いました。アイヌ政策担当大臣を務めたことがご縁となってお招きいただいたシャクシャイン法要祭に出席したほか、松下英樹自民党北海道 9 区支部長、小林ゆうじ道議会議員とともに、新ひだか町の突風被災地を視察いたしました。また、浦河赤十字病院を訪問し、医療・介護・福祉の関係者皆様方との意見交換会では、地域の深刻な窮状を細かくお話いただきました。会の開催にあたり、小林ゆうじ道議会議員のご尽力に誠に感謝申し上げます。

以上